

大阪府立出来島支援学校 開校準備室だより

# できじまガジン

第2号

【ニュース：地元の方々対象の内覧会（2月9日）が開催されました】

令和6年2月末までの予定で進めている校舎の改修工事は、いよいよ大詰め段階です。先週9日（金）には、地元の方々にご覧いただくため内覧会が開かれました。内覧会の案内は、西淀川区の広報誌『きらり☆にしよど』にも掲載いただきました。

集合場所の木工室には40～50人くらいの参加者を見込んで椅子を準備していましたが、開始30分前から多くの方々が来校され、あっという間に木工室は満杯になり、全員分の椅子の準備が追いつかず混乱してしまいました。



100人を超えるの方々にお集まりいただいてスタートした内覧会。

4階までの昇り降りも、多くの方に階段での移動にご協力いただきました。（普段はあがることのない屋上にもあがっていただきました。）全面的に改修され、とてもきれいに、そしてとても明るくなった校舎をととても柔らかな表情で見られていたのが印象的でした。



【トピックス：廊下の床の色】

校舎の長さは約130mあり、廊下を挟んで両側に教室が並んでいるため、校舎を回っていて自分が今どこにいるのかわからなくなってしまうことがあります。そんな時は、廊下の色をたよりにしてください。太陽の昇る東側はオレンジ色、中央は日中の新緑色、太陽の沈む西側は薄暮の青紫色にカラーリングされています。覚えておいてくださいね。

（廊下の写真は12/21撮影分に掲載しています。下のURLにアクセスしてください。）

<https://www.pref.osaka.lg.jp/shienkyoiku/sinnkoukouzi/index.html>

【校長だより】

わたくしも、内覧会に参加してきました。参加された方々と一緒に校舎を回る中で、多くの方々からお声かけいただきました。どの方もとても好意的で、期待感をもって出来島支援学校を受け入れていただいていることが伝わってきました。

1号でお伝えした学校教育目標のひとつ、できじまの「き=きずな」は、人や地域とつながり、新しい絆を生むことをめざすという目標です。今回、内覧会に来ていただいた方々をはじめ、地域の方々には、出来島支援学校の温かく心強いサポーターです。地域に愛される学校づくりを続けていかねばと、気持ちを新たにしたい一日となりました。